

《 コラム 》 Vol.55

百匹目の猿

2019年8月、クラウドファンディング「マクアケ」で「ノビサック」はデビューさせて頂きました。

もう6年前の事ですね。

少しずつではありますが「ノビサック」の販売量は増えております。

これもすべて皆様のお陰様です。感謝！

でもまだまだ「ノビサック」だけで食べていけるような状況ではありません。技術コンサルタント、機械設計、他の指サックの販売などで何とか生活できております。

これもまた関係している皆様のお蔭です。感謝！

私、人生で60年、社会人になって40年近くになります。

長年の経験の中で、何の仕事が楽しいか、やっと分かってきたことがあります。

それは・・・サプライズ（驚き）を多くの方にお届けする事。

お届けするサプライズが社会の役に立てばなおさらのことです。

その一つが「ノビサック」である事は間違いではありません。

「組立作業など、工場の作業現場で使われているごく普通の指サックを、一般の市場に広めてみよう。」

と思ったのがきっかけでした。

さて、どんなサプライズを生み出せるのか？

まずは、普段見かけることのない工場で使われている指サックを、一般の方々にお披露目するのが最初のサプライズ。

多くの方々が、「何だ！？この指サック！」、「こんな扱いやすい指サック、初めて！」と感激してくれました。

ギフトショーなどの展示会にも出店させて頂きましたが、なかなかの高評価でした。（手前味噌です。）

そして次のサプライズはパッケージ。

パッケージのデザインには相当こだわりました。

100個入、30個入のファスナー付きスタンドパック。

そのデザインは皆さんご存知の通り、いままで市場になかった斬新なデザインです。

そしてファスナーも開け閉めの心地よいEZロック。
わざわざフランスから輸入した甲斐がありました。
これもすべてパッケージ製作に関わって頂いた皆さんのお蔭です。感謝！

しかし、まだまだ「ノビサック」を知らない方々が多くいらっしゃいます。
TVで放送されたらドカーンと認知度が上がるのは分かっておりますが、
それで広がっても面白くも何ともありません。
一気に在庫がショートしてしまうことが目に見えています。
認知度向上は、口コミなどで徐々に広がるのが理想です。

「百匹目の猿」というニホンザルのお話があります。
宮崎県串間市の幸島で、一匹の猿が海水で芋を洗って食べることを覚えました。
多分塩分も感じて美味しかったんでしょうね。
それを見ていた他の猿たちが、「何か美味そうじゃね？」
と思ったかどうか知りませんが、まねをして海水で芋を洗って食べるように。

丁度百匹目の猿が芋を海水で洗い始めた頃、不思議な現象が起きました。
なんと他の島に生息している猿たちが、同じように海水で芋を洗って食べるよ
うになったそうです。
猿の意識が、遠く離れている猿たちに伝わったというお話です。

何となくですが、この百匹目の猿のように、
「ノビサック」の認知意識が今まで知らなかった人々の意識に伝わっていくよ
うな気がします。（伝わって欲しい・・・）
もしかしたら百匹目の猿は貴方かもしれません。
信じるか信じないかはあなた次第です！

いままでこのノビサック通信は「ノビサック」の認知度向上を担ってきました。
が、そろそろお役目ゴメンの思いが強くなってきました。
という訳で、勝手ながら今回を最終回とさせていただきます。
今までご拝読頂きまして誠に有難うございました。